

当会会員のシンセメック(株)(札幌市)が

平成 28 年 11 月 29 日付の日刊工業新聞に紹介されました。

シンセメック 新工場稼働

航空機関連分野への進出視野

門型5面加工機導入、大物対応

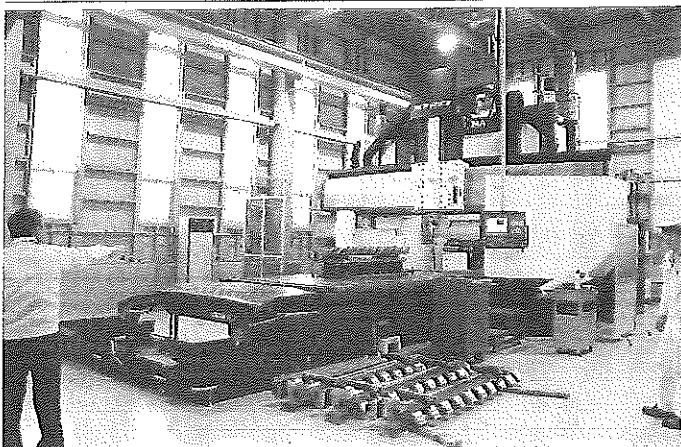
【札幌】シンセメック(北海道石狩市、布川丈嗣社長、01333・75・6600)は、新工場を稼働した。同社の敷地内に、延べ床面積約1000平方メートルの建屋を新設した。製造設備も含めて、投資金額は約2億円。大物の機械加工に対応すること、で、航空機関連などへの進出も見据えて、効率的な生産体制を構築する。

マシンセンター増設

新工場「1」から機械設備を集約したほか、門型5面加工機を新たに導入するなど、大物の機械加工にも対応できるように整備した。工場内に測定室も設置した。12月に約1500万円を投資し、新



権復モは、シンセメック内で機械部品などを手がける「マシンセンター」を増設する形で建設した。同社内で食品機械を担当する「フードマシンセンタ



稼働した新工場。大物の機械加工などに対応する

たな3次元測定機を導入する予定で、より精度の高い仕事にも取り組む。女子ロッカーや女子トイレを増設するなど、厚生面の充実も

図った。松本英二会長は「新工場を設けたことで、高精度な機械を効率的につくれるようになる。部署間の連携も高めて、さまざまな需要に対応したい」としている。

近年では「カボチャ乱切り装置」など、食品加工機械の製造にも乗り出している。